

支所機能の強化策・都市計画税・牛深の都市計画道路「鬼塚牛深港線」について



益田 昭政 議員

【支所機能の強化策について】

【益田】市長の公約にある支所の機能強化策の内容とは。

市長 支所長には予算要求する権限を付与し、地域の重点課題・要望を支所で対応できる体制とした。

【都市計画税について】

【益田】天草市には本渡と牛深地区に都市計画区域がある。この区域内に居住する人には、所有する固定資産に都市計画税が課税される。この課税地域に居住する住民には不公平感がある。税の公平性を保つためにも、この税制の内容を検討すべきだが。

建設部長 この税に不公平感を持っている方がおられることは承知している。現在、都市計画検討会にて都市計画事業・財政等の見直し・他市町の現状調査・分析をし、今後のこの税制の在り方、課税の範囲等、内容を検討している。早い時期に方針案をまとめたい。

【都市計画道路・鬼塚牛深港線について】

【益田】この路線は計画から相当の年月が経過している上、地域の要望もかなり強い。早期着工の為に地域住民への詳しいプランの提案と説明が不足している。今後の取り組みを説明願いたい。

建設部長

この路線は平成20年8月「熊本県都市計画見直しガイドライン」に基づく調査で「存続」となった。この道路は、県道であり、県には計画的整備要望を行っている。本市としては、「天草市都市計画マスタープラン」にてこの路線の計画的整備を図るとし、今後も県との連携を図り、地域住民のご意見を伺いながら整備に向けた取り組みを進めたい。



「道の駅」について、「トイレ」について、避難港（魚貴町・首海岸）



浜崎 昭臣 議員

【道の駅について】

【浜崎】全国で道の駅は1,030駅、下天草は0駅。「うしぶか海彩館」「愛夢里」の可能性と下田国民宿舎跡地に新設の考えはないか。

市長 海彩館と世界遺産登録を目指す崎津集落近くに（富津体育館解体跡地を中心とした場所）整備予定の観光拠点施設で、平成27年度中の登録に向けて取り組んでいく。五和の「仮称イルカセンター」も登録を視野に整備予定。下田地区も有力な候補地と考えるが天草町全体を考慮した中で検討していく。



【日本で一番夢のあるトイレ、清潔で充実した天草市を目指す為の方策について】

【浜崎】天草市管理トイレは2155施設ある。誘導統一看板は出来な

いか。子ども達の作品を取り入れ、清潔で夢のあるトイレを目指すための方策。

観光文化部長

誘導看板 視覚的にすぐにトイレと分かる表示を取り入れたい。子ども達の作品の活用については、現在計画していないが、子ども達を含め住民の方の考えや感性を活かす方法を考える。トイレ清掃は極力地域に管理をお願いしていきたい。

【首海岸の避難港について】

【浜崎】魚貴崎漁港区域の拡大見直しを行い、長年の悲願である首海岸の避難港実現を今回こそ何がなんでも達成していただきたい。

経済部長

国土交通省、農林水産省と協議を行う。協議終了後、農林水産省へ漁港区域の変更許可申請を行い、許可後、海岸保全施設の所管換えの手続きを行う。

市長 変更については、可能であると判断している。事務手続きに3年程度、さらに予算獲得、事業完了まで概ね5〜6年程度必要。前向きに検討する。

人口減少による影響と課題等について「赤ちゃんの駅登録事業」の導入



赤木 武男 議員

【赤木】日本創生会議が示した「消滅可能性都市」の推計予測と評価は。総合政策部長 将来推計人口が減少の状態にあり評価できる。特に20歳〜39歳の若年女性が減少する限り、人口減少に歯止めがかからない。

【赤木】若年層の地方から大都市への「地域間移動」についての影響と今後の予測は。

総合政策部長

平成22年の国勢調査で、30歳〜34歳を例に取ればこの年代が10歳〜14歳の時は8,256人いたものが、20歳〜24歳の時には61%減の3,251人となっており、今後も若年層の地域間移動は続くと思われる。

赤木

地元で暮らしやすい子育て総合的支援策拡充の考えをうかがう。健康福祉部長 保育環境のサービ

スの拡充や保育料徴収基準の見直し、子ども医療費を10月から中学3年生まで拡充するなどの施策を行う。

赤木

天草地域の雇用環境の現状と非正規社員の実態は。



効求人倍率は低く、非正規社員は4割前後占め、低賃金労働者の増加を懸念している。

【赤木】平成24年3月議会で提案していたハローワーク専用のタッチパネル検索システムが、今年9月から全国の地方自治体にも設置できるようになった。システム導入と利用開始時期をうかがう。

経済部長

職業紹介事業を行う自治体にオンライン提供制度が開始された。「求人提供端末」と「データ提供」の2方式があり、来年9月の導入を目指したい。

【赤木】「赤ちゃんの駅登録事業」は乳幼児を抱える保護者が、外出中に授乳やオムツ替えが気軽にできるように公共施設や商業施設など社会全体で子育て家庭を支援するもので、今後取り組んではどうか。

健康福祉部長

近年全国的に広がっており、利用者が気軽に立ち寄れる目印となるステッカーの配布等実施に向けて取り組み、公共施設にも活用できないか推進を図っていく。

公共の土地利用・鳥獣被害の実態・水産業の振興対策・再生エネルギー及びバイオマスエネルギー



浜崎 義昭 議員

【浜崎】

現在、公共の土地はどのくらい所有しているか。また、利活用できる土地は、どのくらいあるか。

総務部長

行政財産は、3万2,397筆、2,485万㎡。普通財産4,367筆、3,046万㎡。利活用できる土地については、処分等の検討を行っている。

【浜崎】

住民から利用・購入したい土地の問い合わせに公募を行うべき。総務部長 市民に情報提供を行っていく。

【浜崎】

イノシシの捕獲実態はどのようになっているのか。また、有害鳥獣の被害状況は。

経済部長

平成25年度は、5,417頭。有害鳥獣の被害額は、稲、果樹、野菜等合わせて3,048万円。車の衝突も聞いている。

【浜崎】

狩猟免許の受験者数と合格者数と狩猟者登録者数は。

経済部長

平成25年度Ⅱ受験者45人、合格者43人、登録者194人。【浜崎】水産物の価格は、水揚げ時の鮮度にかかっている。鮮度を保つための保管施設が必要では。

経済部長

鮮度保持施設の必要性は認識している。【浜崎】熊本県で、最大の水揚げを誇る水産基地牛深を天草市としてどのような位置づけをしているか。

【経済部長】

重要な基幹産業として位置付けている。

【浜崎】

水産加工品（サバ節・いりこ等のダシの元）は、世界に誇れる商品である。行政として、既存商品及び新商品の開発、アピールは行っているか。

【経済部長】

商品開発支援制度を活用してもらいたい。

【浜崎】

再生可能・バイオマスエネルギーの視点を変えて、資源の有効活用をすることが雇用を生み出す。天草の宝「水産加工残渣等」を肥料や餌料として再利用し、生命を育むエネルギーとして取り組むべきでは。

【経済部長】

実施団体があれば支援する。

【浜崎】

エネルギーの地産地消は、農林水産の活性化を含む資源の循環型社会の構築に寄与できる。天草市の構想はあるのか。

【経済部長】

将来目指すべき選択肢の一つ。【浜崎】天草市の基幹産業から産業廃棄物を宝物として位置付け、有効活用するよう、担当課を置き、発想の転換を求める。

【経済部長】

各関係者で協議する場を持つていくことが必要。担当課は置かない。